

最新技術への移行による ラボのパフォーマンス向上

食品ラボ向け
アジレントテクノロジーリフレッシュプログラム



Agilent 6890 GC および従来の GC/MSD システムでは、これからも優れた分析結果を得られることでしょう。しかし、規制や製造に関する厳格な要件に適合するにあたって、最新機器へ更新することで、さまざまなリスクを回避できます。

ラボのさらなる可能性を追求

新しい Agilent GC システムは、信頼性の高い 6890 GC システムや従来の GC/MSD システム向けに開発された機能を基盤としており、20 年前には不可能だった高い感度と再現性、費用対効果に優れた運用を実現します。

- 7820A GC システムは、シンプルなスタンドアロンアプリケーションでアジレントならではの高い信頼性を実現
- 7890B GC システムは、フレキシブルな機器構成に対応し、長期にわたり信頼性の高いデータを提供
- Intuvo 9000 GC システムは、従来の GC システムから効率が 25 % 向上しながらも、必要な設置スペースは半分以下
- アジレントのクロマトグラフィーデータシステム OpenLAB CDS は、信頼性の高い結果を提供
- Agilent GC/MSD システムは、感度と使いやすさが向上しており、新しい GC システムとの併用に最適

これらの新しい GC および GC/MSD システムにより、食品、飲料、農業サンプル中の有機汚染物質の分析などにおいて、現在と将来の課題に対処することができます。



食品関連の新しいアプリケーションノート

旧式の機器を最新の GC システムに更新することで得られるメリットについてご紹介します。

アプリケーションノートを見る:

www.agilent.co.jp/chem/borrowedtime

高い生産性の実現

老朽化した機器を使い続けていると、食品分析における最新の要件に適合することが難しくなります。



アジレントは 50 年以上にわたって GC システムの革新に取り組み、長期的な性能に関して期待を上回る成果をあげてきました。



Agilent 7820A GC

ルーチン分析に最適

保存料などの添加物や多環芳香族 (PAH) などの化合物の分析に、多額の費用が必要になるとは限りません。7820A は、シンプルなバルブ構成から幅広い検出器にも対応しており、革新的な技術をお求めやすい価格で長期にわたって利用できます。さらに、アジレントによる 10 年間のバリュープロミス保証付きです。



Agilent 7890B GC

運用コストを抑えつつ高性能を実現

低濃度の活性化化合物の分析を実施する必要がある場合や、運用予算の削減に直面している場合は、長期にわたって高性能を発揮する 7890B GC システムが最適です。次の特長があります。

- 低濃度活性化化合物の損失を最小限に抑える不活性流路
- リテンションタイムロッキング、スプリットフロー構成、バックフラッシュ機能により、トリプル四重極 MS システムでのリテンションタイムの調整が不要
- スリープ/ウェイクモードを備えたキャリアガス切り替えモジュールにより、ヘリウムの使用量とコストを削減
- 水素センサにより、水素キャリアガスを低コストで安全に使用可能



6890 GC を Intuvo GC に交換することで
生産性が 25 % 向上:

Agilent Intuvo 9000 GC

かつてないほどのビジネス効率を達成

GC ラボの運営のあり方が根本から変わります。Intuvo は、設置スペースと消費電力が従来の GC システムの半分でありながら、次のような画期的な機能を提供します。

- ナットもフェラルも使用されていないため、カラムを 1 分以内に交換可能
- ガードチップ技術により、システムをサンプルによる汚染から保護
- カラムのカットが不要なクリップレスカラムの採用により、リテンションタイムの更新が不要
- 5977B、7000D、7010B 質量分析計システムとの使用に最適な GC



Agilent GC/MS システム

厳格な要件への適合を可能にするシングル四重極、トリプル四重極、高分離能 QTOF 技術

これらの Agilent GC/MS システムの特長は、長期にわたる信頼性、クリーニング頻度の低減、低濃度分析における高感度、高速分析です。

- 超高感度イオン源 (HES) を備えた 5977B システムは、検出限界が 10 分の 1 になり、同じ検出下限でサンプル前処理の時間が 10 分の 1 に短縮
- 7000D はダイナミックマルチプルリアクションモニタリング (dMRM) によって低濃度のサンプルを高精度で分析可能。HES 搭載の 7010B も dMRM に対応
- 7250 GC/Q-TOF は、高分解能データにより、未知化合物の同定やスクリーニングにも柔軟に対応

最新の Agilent GC システムで ラボ機能を拡張

不活性を確保するトータルアプローチ

サンプル流路の不活性化は、GC にさらなる進化をもたらす最先端技術です。

アジレントは、イナートフローパスソリューションを最新の GC システムに統合しま

した。インジェクタから検出器まで、不活性な流路を構築することにより、対象化合物の吸着を低減し、

検出下限を下げると同時に S/N 比を向上させることができます。これにより、現代の食品分析に求められる ppb または ppt という検出レベルが実現します。



Agilent Intuvo GC システムによりサンプルスループットが向上

Agilent Intuvo システムを使用することで、1 サンプルあたりのコストを最小限に抑えて短期間で分析結果を得ることができます。高速オープン冷却、新しいバックフラッシュ機能、先進的な自動化機能が搭載されています。

統合された新しいインテリジェンス機能

アーリーメンテナンスフィードバック機能によって、予期しないダウンタイムの発生を抑制できます。GC と質量選択検出器の間の通信の改善により、ベント時間が最大 40 % 短縮されます。また、シャットダウンイベントの発生時にはキャリアガスの流れを停止することにより、システムが損傷から保護されます。

高い信頼性

Agilent J&W ウルトライナート GC カラムファミリーは、一貫したカラム不活性度ときわめて低いカラムブリードを実現し、業界基準を押し上げました。この優れた性能により、検出下限をさらに向上し、分析の困難な成分であってもより正確なデータが得られます。

クロマトグラフィー機能の拡張

バックフラッシュ、流路スプリッタ、GC x GC、Deans スイッチ、ページ付きユニオンなどのアジレント独自のキャピラリー・フロー・テクノロジー (CFT) により、分析機能と結果が向上します。

Agilent GC および GC/MSD ソリューションの詳細については、www.agilent.co.jp/chem/borrowedtime をご覧ください。



データとデータシステムを最先端に

アジレントは最新のソフトウェアによってさらなる一歩を踏み出しました。アジレントの OpenLab CDS は、お客様の既存のメソッドやデータに対応可能であると同時に、アジレントのクロマトグラフに組み込まれた高度な機能を最大限に活用できるようにします。また、アジレントのレポートソフトウェアはドラッグ&ドロップで簡単に操作でき、分析、解釈、レポート作成のワークフローに要する時間を節約できます。



From Insight to Outcome

Agilent CrossLab サービス: 総合的なサポートにより稼働時間を最大化

業界最高レベルを誇る Agilent CrossLab サービスのエキスパートにお任せいただくことで、機器の性能を最高の状態でご使用いただくことができます。また、テクノロジーリフレッシュサービス、アプリケーションのコンサルティング、修理、点検、コンプライアンス検証、トレーニングなど、お客様のニーズに応じたサービスも提供しています。詳細については、アジレントにお問い合わせください。

ホームページ

www.agilent.com/chem/jp

カスタムコンタクトセンタ

0120-477-111

email_japan@agilent.com

本製品は一般的な実験用途での使用を想定しており、医薬品医療機器等法に基づく登録を行っておりません。本文書に記載の情報、説明、製品仕様等は予告なしに変更されることがあります。

アジレント・テクノロジー株式会社

© Agilent Technologies, Inc. 2017

Printed in Japan, September 28, 2017

5991-8094JAJP

